

第7回福島県 性差医療セミナー

平成23年12月11日(日)

コラッセふくしま 5階 研修室

福島市三河南町1番20号

時間:13:00~16:20(開場12:30)

参加
無料

「低線量被ばくについて考える～福島で生きるということ～」

演者:宮崎 真 公立大学法人福島県立医科大学放射線医学講座助手

「性差医療と女性外来」

演者:天野 恵子 財団法人野中東皓会静風荘病院特別顧問

「災害と男女共同参画～性差医療の視点から」

演者:堂本 暁子 女性と健康ネットワーク代表

「巡回診療で思ったこと(いわき)」

演者:阿部 雪江 医療法人あべクリニック副院長

「避難所に女性専用スペースが生まれた理由^{わけ}」

演者:天野 和彦

福島県文化スポーツ局生涯学習課社会教育主事
(福島県避難所運営支援チーム)

未来へつなぐ
性差医療を考える。



【お問い合わせ先】

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 病院経営課病院企画係 電話.024-547-1821

主催 公立大学法人福島県立医科大学

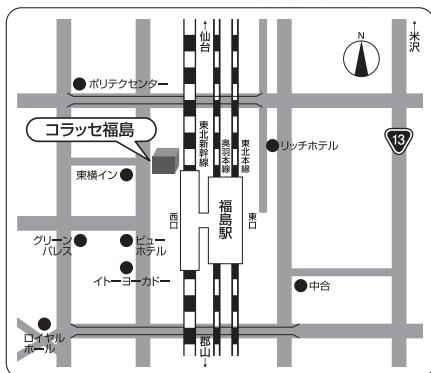
後援 福島県、福島医学会、(社)福島県医師会、(社)福島県看護協会、(社)福島県薬剤師会、(社)福島県栄養士会、福島県産科婦人科学会、福島県立医科大学医師会、
福島県立医科大学光が丘協議会、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、NHK福島放送局、福島民報社、福島民友新聞社、ラジオ福島、ふくしまFM(順不同)

第7回福島県 性差医療セミナー

平成23年12月11日(日)



性差医療は、2001年日本に初めて女性専門外来が開設されて以来、全人的医療を実践できる場として周知されてきています。また、性差医療という学問的観点からも、その重要性が認識されてきたところです。そのようななか、本年3月11日東日本大震災それに続く東京電力福島第一原子力発電所の事故により福島県は大きな被害と不安を抱えることとなりました。本セミナーでは、震災・原発事故における性差を考慮した復興支援・男女共同参画について、震災直後から各分野でご活躍されている専門家を講師にお迎えし、ご講演いただきます。



- 13:00～ **開会挨拶**
村川 雅洋 公立大学法人福島県立医科大学附属病院長

- 13:10～13:50 **「低線量被ばくについて考える～福島で生きるということ～」**
演者:宮崎 真 公立大学法人福島県立医科大学放射線医学講座助手
- 13:50～14:30 **「性差医療と女性外来」**
演者:天野 恵子 財団法人野中東皓会静風荘病院特別顧問

- (休憩10分)

- 14:40～15:20 **「災害と男女共同参画～性差医療の視点から」**
演者:堂本 暁子 女性と健康ネットワーク代表
- 15:20～15:40 **「巡回診療で思ったこと(いわき)」**
演者:阿部 雪江 医療法人あべクリニク副院長
- 15:40～16:00 **「避難所に女性専用スペースが生まれた理由」**
演者:天野 和彦 福島県文化スポーツ局生涯学習課社会教育主事 (福島県避難所運営支援チーム)

- 16:00～ **質疑応答**
- 16:20 **閉会**

- 会場内に無料託児室を開設します。
ご利用の方は、お電話にてお申し込みください。(病院経営課病院企画係 電話024-547-1821)
- 本セミナーは、日本医師会生涯教育講座講習会(2.5単位)及び日本産科婦人科学会認定シールの対象となります。

第7回 福島県性差医療セミナー **ファックス申込書 FAX.024-547-1988**

ふりがな		年齢	歳	職業	
お名前					
ご住所	〒				どちらかを○で囲んでください 医療関係者・一般の方
ふりがな		年齢	歳	職業	
お名前					
ご住所	〒				どちらかを○で囲んでください 医療関係者・一般の方

申込方法

ハガキ、FAX、E-mailで参加者全員(複数応募可)の郵便番号、住所、年齢、職業、電話番号を記入して下記にてお申し込みください。電話でのお申し込みも受け付けております。

【応募先】◎ハガキ 公立大学法人福島県立医科大学附属病院 病院経営課病院企画係
〒960-1295 福島市光が丘1番地
◎FAX 024-547-1988 ◎E-mail seisa@fmu.ac.jp

【締め切り】平成23年12月7日(水)必着

【お問い合わせ】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 病院経営課病院企画係 電話.024-547-1821

※先着順、定員に達しだい受付を終了いたします。頂いた個人情報は、この目的以外での利用・第三者への提供はいたしません。